

# みんなで日高自然体験！（夏編）

**趣旨** 日高の自然に親しむ体験活動をととして、親子の絆を深めるとともに、子どもたちの生活習慣の改善を図り、自立する力を身に付ける機会とする。

## 企画運営のポイント

1. 参加家族間での交流が生まれ、連携団体内でのピアサポートの契機となるようなグループを編成し、各活動を実施した。
2. 参加者の希望に応じて、テント泊と本館宿泊の選択ができるようにした。

**期日** 令和4年9月17日（土）～9月18日（日）

**対象** 連携団体に所属する親子

**人数** 小学生2名、中学生2名、保護者3名、引率職員3名 計10名

## 内容

9/17（土）

- ① 開会式
- ② オリエンテーション
- ③ レクリエーション（ヘリウムフープなど）
- ④ テント設営・ベッドメイク
- ⑤ アウトドア・クッキング（芋煮会）
- ⑥ キャンプファイヤー（マシュマロ焼き、家族間交流・団らん）

9/18（日）

- ⑦ 激流！沙流川ラフティング  
外部指導員 有限会社北海道アウトドアアドベンチャーズ
- ⑧ 閉会式



## 参加者の声

- ・本館宿泊のみではなく、テント泊でキャンプも体験できたので、大変良かったです。
- ・ラフティングやテント泊など、自然にふれ合える貴重な体験で良かったです。
- ・初めてのラフティングは、私の年齢で大丈夫かなと思いましたが、楽しく自然の中で川をくだる体験に感動しました。
- ・アウトドア・クッキングの芋煮がとてもおいしかったです。手軽にできそうなので、家でも作ってみたいと思います。

## 【成果】

- ・野外炊事やラフティングなどの複数家族でのグループ活動では、協力が必要な場面が多く、保護者や子どもどうしが活発に交流する様子が見られた。また、それぞれの活動が、中学生が小学生のサポートをするきっかけとなり、その後の食事や入浴の時間においても積極的に子どもどうしでサポートする姿が認められた。
- ・参加者の希望に応じて、テント泊と本館宿泊の選択ができるようにした。これにより、キャンプを体験したい参加者の要望にも応えつつ、例年どおり本館宿泊で身体を休めたい参加者の要望も満たすことができた。

## 【課題】

- ・本事業の実施時期と新型コロナウイルス感染症のいわゆる「第7波」が重複した。その結果、連携団体の担当者によると、申し込みの段階で宿泊行事への参加を断念せざるを得なかった団体会員も多かったという。こうした不安を少しでも払拭するために、施設全体及び各活動での感染症対策や安全性についてさらに周知する必要がある。